

## 第2回 夏季セミナー

# 「形の弁別の学習」

2013年8月24日(土)第2回夏季セミナーが学研ビル(東京都品川区)で行われました。

このセミナーは「形の弁別の学習」を講義と演習を通して、実際に授業ができるように学ぶセミナーです。形を理解することはまわりの様子をより正しく認知することにつながり、「文字の学習」に進むためにも必要です。今回は「○△□のはめ板」の教具を用いて演習を行いました。

講師の宮城(つばき教育研究所理事長)からは、①子供の目を見て教材を呈示すること ②よく見ている時は褒めること ③教材を呈示しても見ない時は、タッピングやポイントイングをして視線を誘導すること ④誤選択肢の撤去とタイミングに留意すること ⑤間違えさせないことが演習の大切なポイントとしてあげられました。



### 〈 参加された方の感想 〉

教えることがこんなにも難しいとは思わなかった。演習を行っていくうちに少しずつことばかけや呈示ができるようになってきた。子どもに考える力をつけ、見る力をつけさせるには教師が勉強しなければと思った。

特別支援学校教諭

「夏季講座」と「夏季セミナー」両方参加出来とても良かったです。「見比べる力」をつけることが大切だとわかりました。学習の時だけでなく生活の中でもよく見るように関わっていきたいと思います。

小学生の保護者

今年度夏季セミナーにご参加いただきありがとうございました。来年度も8月に東京都品川区で行う予定です。多くの方のご参加をお待ちしています。